



常山のよう

～ともに遊び ともに学び ともに育つ～

令和5年11月20日発行



天高く 荘内小の実りの秋



♪ 荘内小の音は、子どもたちのがんばりの音♪

校庭の木々が、真っ赤に染まってきました。校長室には毎日いろんな音が聞こえてきます。楽器の音色、歌声、発表の声、「いただきます!」「ありがとうございます!」といった声や楽しそうな笑い声…。子どもたちのがんばりが伝わってきます。

でも、にぎやかだった校舎がシーンと静まりかえる瞬間もあります。それは、授業の始まりのチャイムが鳴ったときと、掃除がはじまったとき。音が聞こえないことで、がんばりが伝わることもあります。このめりはりが、荘内小のすばらしいところです。



行ってらっしゃい!

9月の終わりから10月にかけて、各学年が校外学習に出かけました。出向かなくてもリモートで学習できる時代ですが、実際に見て、聞いて、感じることでできる学習で得たものは大きかったようです。

チャレンジで どんどん成長 荘内小

～子どもが主役の学校です～



1年



2年



3年

今年度は、4年ぶりに5年生の宿泊を伴う海事研修(10/24・25)と6年生の京阪神方面への修学旅行(10/25・26)が実現しました。ふたつの行事の日にちが重なり、10月25日は高学年不在の学校となりました。そこで、活躍したのが、4年生です。高学年の代わりに委員会の仕事をしてくれました。頼もしい限りです。



4年



5年



6年



おかえりなさい!

行事(校外学習・研修)には、それぞれ目的があります。でも、互いを思いやり、相手のことを考えて行動に移したとき、行事の目的以上のものが得られます。これは、ICTでは築くことのできない力です。

初めての宿泊研修でたくさんのことを学んで成長した高学年ですが、下級生もまた、大きく成長した10月でした。